

●資料全体

- ・前回の連絡協議会において、ひ素が環境基準を超過している H26-S2 地点の状況についてご意見がありましたので、この地点のひ素の基準超過原因が自然由来と考えている理由について、これまでの調査結果等を取りまとめてお示しします。

●P.1 下 「地下水帯水層の位置関係」

- ・H26-S2 地点の井戸は底面遮水工より下に位置する Ks2 層帯水層の観測井戸です。

●P.2 上 「地下水位観測結果に基づく地下水流向図」

- ・平成 24 年度に行った Ks2 層の地下水観測井戸における地下水位観測結果に基づき、地下水等高線を引き、地下水流向を示した図です。
- ・Ks2 層の地下水位は現在の H26-S2 地点付近で高く、旧処分場側に向かって下がっているため、旧処分場側が下流側と考えられます。

●P.2 下 「地下水・浸透水分析結果」

- ・H26-S2 地点の Ks2 層地下水と、浸透水モニタリング地点 (No.3 揚水井戸、No.1 揚水井戸、揚水ピット) の浸透水の分析結果です。
- ・浸透水で検出されているほう素、1,4-ジオキサンが H26-S2 地点では不検出となっています。
- ・また、H26-S2 地点の電気伝導度は浸透水の値を大きく下回っています。

●P.3 上下 「ボーリングコアの色」

- ・H26-S2 地点と蛍光X線分析を行った No.3-1 地点のボーリングコアの写真を掲載しています。
- ・No.3-1 地点では蛍光X線分析でひ素が検出された位置は鉄の酸化物と考えられる赤色が濃い箇所となっています。
- ・H26-S2 地点の Ks2 層は全体的に黒い成分が含まれるため目立ちませんが、鉄の酸化物が多いと考えられる赤色が濃い箇所も見られます。

●P.4 上 「まとめ」

- ・Ks2 層の地下水位は H26-S2 地点付近で高く、旧処分場側に向かって下がっているため、旧処分場側が地下水流向の下流側と考えられます。
 - ・浸透水で検出されているほう素、1,4-ジオキサンが H26-S2 地点では不検出となっています。
 - ・H26-S2 地点の電気伝導度は浸透水の値を大きく下回っています。
- 以上の状況から、H26-S2 地点の地下水は浸透水の影響をほとんど受けていないと考えられるため、環境基準を超過しているひ素は自然由来の可能性が高いと考えられます。
- ・なお、H26-S2 地点のボーリングコアの色からも、ひ素を含んでいることの多い鉄の酸化物の赤色の濃い箇所が見られます。